



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション
コード番号 9385 URL <http://www.shoei-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 有村 芳文

TEL 06-6233-2636

四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,980	1.3	510	394.5	327	734.8	207	—
28年3月期第3四半期	10,834	3.5	103	—	39	—	△17	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 244百万円 (646.5%) 28年3月期第3四半期 32百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	32.20	—
28年3月期第3四半期	△2.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	7,585	1,894	25.0	293.80
28年3月期	7,133	1,697	23.8	263.31

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,894百万円 28年3月期 1,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,872	9.0	485	172.7	482	371.2	292	—	45.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	6,850,000 株	28年3月期	6,850,000 株
29年3月期3Q	402,000 株	28年3月期	402,000 株
29年3月期3Q	6,448,000 株	28年3月期3Q	6,448,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に雇用環境や設備投資等、景気は堅調に推移しているものの、一方で個人消費の先行きについては、実質賃金の伸び悩みなどにより不透明な状況が続いております。

海外では、英国のEU離脱や米国新政権の政策動向等による世界経済の不確実性の高まりや、中国をはじめ新興国経済の景気減速などにより先行きは依然として不透明な状況となりました。

当社グループを取り巻く環境は、景気減速懸念等による先行き不透明感により消費者マインドに足踏みがみられ、厳しい事業環境が続いております。

このような中、グループ一体経営で売上拡大と効率化を推進、ビジネス領域を拡大し、グループ4社それぞれの経営資源や特性を活かして、強固な収益基盤作りを進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,980百万円(前年同期比1.3%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は510百万円(前年同期比394.5%増)、主に海外子会社の邦貨建負債の評価損等による為替差損162百万円(前年同期は33百万円の為替差損)により、経常利益は327百万円(前年同期比734.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は207百万円(前年同期は17百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パッケージ事業)

当セグメントにおきましては、グループ一体化や組織営業の推進により、大口先開拓や新規・休眠開拓に注力しつつ、提案型営業を展開するといった付加価値サービスの提供も進めてまいりました。それに加え、タイ工場においては稼働率アップによる生産効率が大幅に向上され、また円安傾向の緩和による原材料費の逡減等により、売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、売上高6,658百万円(前年同期比6.6%増)、セグメント利益808百万円(前年同期比93.3%増)となりました。

(メディアネットワーク事業)

当セグメントにおきましては、配送費や煩わしさの低減などの提案を行う一気通貫サービスに注力したものの、競合他社により単価引き下げやクライアントの発送部数の見直し等によって封入封緘売上や物流売上ともに低調となり、売上高、セグメント利益ともに前年同期を下回りました。

その結果、売上高1,889百万円(前年同期比15.2%減)、セグメント利益11百万円(前年同期比76.3%減)となりました。

(日用雑貨品事業)

当セグメントにおきましては、海外協力メーカーとの強いパイプによる原価逡減力や商品企画開発力の向上に努めたことにより、100円均一ショップやドラッグストア向けの販売が増加しました。また円安傾向の緩和による仕入コストの逡減等、セグメント利益の改善につながりました。

その結果、売上高2,675百万円(前年同期比2.4%増)、セグメント利益117百万円(前年同期はセグメント損失18百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は7,585百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円増加しました。これは主に商品及び製品等が減少したものの、現金及び預金等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ255百万円増加しました。これは主に長期借入金等が減少したものの、短期借入金及び未払法人税等が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,894百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告 第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	297,315	898,427
受取手形及び売掛金	2,498,311	2,531,228
商品及び製品	1,332,703	1,243,888
仕掛品	103,577	102,511
原材料及び貯蔵品	122,024	77,574
未収還付法人税等	7,729	1,905
その他	267,433	285,652
貸倒引当金	△2,009	△4,210
流動資産合計	4,627,086	5,136,978
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,125,712	1,125,712
その他(純額)	705,744	648,172
有形固定資産合計	1,831,457	1,773,884
無形固定資産		
のれん	53,636	26,818
その他	19,270	16,768
無形固定資産合計	72,907	43,587
投資その他の資産		
その他	606,031	643,993
貸倒引当金	△4,490	△12,709
投資その他の資産合計	601,541	631,283
固定資産合計	2,505,906	2,448,755
繰延資産	294	126
資産合計	7,133,287	7,585,860
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,922,068	1,989,760
短期借入金	1,780,000	2,070,000
1年内償還予定の社債	83,120	62,280
1年内返済予定の長期借入金	390,479	380,188
未払法人税等	28,239	123,818
未払消費税等	35,508	58,617
賞与引当金	72,620	53,073
その他	268,752	311,900
流動負債合計	4,580,788	5,049,637

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
固定負債		
社債	39,480	-
長期借入金	455,953	286,961
退職給付に係る負債	63,929	71,729
長期未払金	146,052	146,052
その他	149,266	137,045
固定負債合計	854,681	641,788
負債合計	5,435,469	5,691,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,400	229,400
資本剰余金	146,800	146,800
利益剰余金	1,277,910	1,437,156
自己株式	△71,556	△71,556
株主資本合計	1,582,554	1,741,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,559	137,142
繰延ヘッジ損益	△1,924	-
為替換算調整勘定	△2,371	15,491
その他の包括利益累計額合計	115,263	152,634
純資産合計	1,697,817	1,894,434
負債純資産合計	7,133,287	7,585,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	10,834,935	10,980,454
売上原価	9,014,984	8,668,904
売上総利益	1,819,950	2,311,549
販売費及び一般管理費	1,716,770	1,801,359
営業利益	103,180	510,189
営業外収益		
受取利息	365	288
受取配当金	2,887	2,805
資材売却収入	2,313	4,048
その他	7,073	901
営業外収益合計	12,640	8,043
営業外費用		
支払利息	28,065	22,390
為替差損	33,109	162,395
その他	15,466	6,388
営業外費用合計	76,642	191,174
経常利益	39,179	327,058
特別利益		
固定資産売却益	438	50
特別利益合計	438	50
特別損失		
固定資産除却損	7,836	-
特別損失合計	7,836	-
税金等調整前四半期純利益	31,781	327,108
法人税、住民税及び事業税	21,147	139,083
法人税等調整額	27,951	△19,580
法人税等合計	49,099	119,503
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17,318	207,605
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,318	207,605

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17,318	207,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,251	17,583
繰延ヘッジ損益	97	1,924
為替換算調整勘定	17,785	17,863
その他の包括利益合計	50,135	37,370
四半期包括利益	32,816	244,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,816	244,976

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。